



明けましておめでとうございます

令和4年を迎えました。本年も皆さんが一日一日を大切に過ごし、それぞれの目標や進路希望が達成されることを願っております。

さて、来る1月15日(土)・16日(日)には、大学入学共通テストが行われます。全国の志願者数は53万367人で、前年と比べ4878人減り、減少率は0.9%と4年連続の減少です。現役生の志願者数は44万9369人で、0.1%減とほぼ昨年並みにとどまった一方で、浪人生は5.2%減となり、今後も強い現役志向が続くとみられます。

本校からは3年生120名が出願しており、15日(土)・16日(日)に筑波大学の各試験場において受験します。受験する皆さんは、14日(金)の本校での事前指導(出陣式)の後、各自試験場へ移動し、案内を見て集合場所や待機場所・試験教室を確認するなど、可能な範囲で試験場の下見をしてください。また、今年度もコロナ禍による状況下での試験実施となるため、感染対策を徹底し万全の体制で試験に臨んでください。受験する皆さんが実力を発揮し、大いに健闘されることを祈っています。

1・2年生においても、「共通テスト同日体験受験」(1/13締め切り)に挑戦してみるなど、共通テストを体感してみてください。また、今月中旬には模擬試験が予定されています。入試や模擬試験にはテスト直前だけの詰め込み型の勉強では対応できません。毎日集中して勉強することを習慣化し、知識を蓄積することで本当の学力が身につきます。受験本番を意識して模擬試験に取り組むように心がけてください。更に、模試受験後は必ず振り返りをして自分の弱点を知り、次回の模試に活かしていくようにしましょう。

《 1月の進路関係行事 》

5日(水)・6日(木)	共通テストプレテスト(3年)
15日(土)・16日(日)	大学入学共通テスト(3年) ※14日(金)出陣式 17日(月)自己採点
21日(金)	進研模試(1・2年)
22日(土)	英語検定
27日(木)～31日(月)	定期考査V(3年)
29日(土)	土曜課外⑦ 漢字検定



【今後の入試の日程】

○国公立大学の2次試験のスケジュール

共通テスト翌日に、校内で自己採点を行います。その自己採点の結果と大手予備校各社の合否判定を参考に、担任の先生との面談を経て出願先を最終決定します。2022年度の国公立大学2次試験の出願期間は、1月24日(月)～2月2日(水)です。共通テストの結果を見てから出願校を決め、願書を取り寄せて出願することも可能ですが、この時期は私立大学および国公立大学2次試験対策に忙しい時期でもあるので、受験する可能性のある大学の願書は余裕がある時期にあらかじめ入手しておきましょう。また、国公立大学でもインターネット出願の導入が進んでいますので、自分が出願する大学の出願方法を確認しておきましょう。

○私立大学の個別試験のスケジュール

私立大学の個別試験の出願期間は、1月上旬から中旬頃に1～2週間の期間を設けている場合が多くあります。近年はインターネットによる出願受付を導入している大学が急速に増えています。インターネット出願は、わざわざ紙の願書を取り寄せる必要がなく、24時間出願できるなど、さまざまな利点があります。ただし、インターネット出願であっても、調査書などは別途郵送で送る必要があるため、締め切り日から余裕をもった出願を心がけましょう。私立大学の共通テスト利用入試には、共通テスト本試験よりも前に出願を締め切る「事前出願」型と、共通テストを受験してから出願できる「事後出願」型がありますが、「事後出願」型であっても出願できる期間は共通テスト本試験の数日後までとなっている大学が多いので、じっくり考えている余裕はありません。したがって、出願する可能性のあるすべての大学について、あらかじめ出願書類を用意しておきましょう。特に高校で発行する調査書は発行までに1週間程度かかると考え、早めに依頼してください。

☆私立大学一般選抜の出願戦略について

～一般選抜の中には様々な方式があります～

① 「大学入学共通テスト利用方式」

共通テストを利用して合否判定する方法。8割以上の私大が導入している。共通テストのみと共通テスト+個別試験の2種があり、受験料が安いことや入試日程のバッティングの考慮が不要なことがメリット。一方、この方式の募集人員が少ないことで高倍率になりやすいことがデメリット。

※昨年度は同方式で大幅に志願者減となる私大が続出し、再び「保険」としての利用価値が高まっている。今年度も狙い目となる可能性は高い。

② 「全学部統一入試」

複数学部が同一問題を使用し、個別試験とは別に同日日程にて行う入試。志望する同一学部を複数回受験できることや日程バッティング回避に使用することができるメリットあり。

③ 「英語外部検定利用入試」

英語外部検定試験（英検など）を試験項目に取り入れている方式。出願条件・加点・得点換算・などの方式が採用されており、事前に取得した検定結果を利用できる。

④ その他

「特別奨学生入試」「地方入試」「試験日自由選択制」「後期・2次募集」などの入試制度があり、複数の受験が可能。

～出願戦略のポイントは、自分自身と受験校の特徴を理解することが重要な要素となります～

① 模擬試験等の成績を客観的に分析

自分の成績が上昇傾向なら強気の出願、停滞・下降気味なら安全策を取る。

② 入試問題の特徴を分析

「特定の科目」「出題分野」「出題形式」にそれぞれ偏りがある場合はそれを意識して、自分の特徴にあった大学に出願する。

【今後の留意点】

- (1) 受験直前の学習は、受験勉強の総仕上げとして過去問演習に取り組むこと、すべての科目をまんべんなく勉強すること、発展的内容より基礎固めを重視することなどが重要です。
- (2) 自宅から離れた場所にある大学を受験する場合は、宿泊・交通手段の確認・予約を早めにしておきましょう。
- (3) 規則正しい生活を送り、新型コロナウイルス感染症・風邪・インフルエンザなどの予防に努めましょう。